

駒ヶ根市文化財

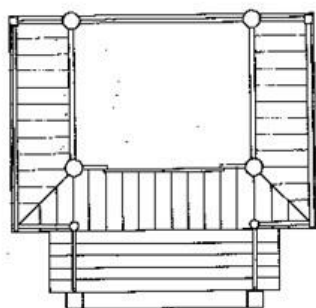
名称	高鳥谷神社本殿
種別	建造物
指定	市・有形文化財(昭和 45. 4. 24)
所在地	東伊那 7706 外
所有者	高鳥谷神社
説明	<p>高鳥谷(たかずや)神社は火山等五箇村の産土神(うぶすながみ)で、文明年間に創立され正徳 2 年(1712)の造営を経て、現社殿は文政 12 年(1829)に造営された。棟札には「大工京都中井水主人門人諏訪高島住人立川内匠富昌」と記し、2 代立川和四郎の作であることが明らかである。社殿は覆屋(おおいや)のなかに建ち、柿葺(こけらぶき)、一間社隅木入春日造(いつけんしゃすみきいりかすがづくり)、軒唐破風(のきからはふ)付で、各所に大きな彫刻が施されている。特に向拝正面虹梁の位置にある竜、左右袖障子の中国の仙人像が力作である。彩色はなく、すべてケヤキ材の白木造である。当時の造営に関わる謝礼金は百両に米百俵であったと伝えられている。</p>



向拝



袖障子



本殿平面図